



平成 26 年度 (第 44 回) 九州アマチュア選手権競技

競技報告 (2014/5/13-16)

写真と記事 : M. Kikutake

通算 6 アンダー、282

小浦和也 (宮崎国際空港) が初優勝

ただ一人のアンダー、
2 位に 8 打差の快勝

福岡県糸島市のザ・クイーンズヒルゴルフクラブ (6982 ヤ、パー72) で行われ、専修大4年、小浦和也 (宮崎国際空港) が通算6アンダー、282 で初優勝した。大会はこのところジュニア勢が台頭、昨年まで4年連続で高校生が優勝していたが、小浦がストップをかけた。

競技は初日、小浦が5アンダーの67で単独首位に立つと、2日目71、3日目72と安定したラウンド。2位に5打差をつけての最終日も手堅くパープレーで回り、終わってみれば8打差をつける圧勝で、4日間一度も首位を譲らない完全優勝を飾った。

小浦は2012、13九州オープン選手権で連続してベストアマ、昨年の日本オープンではローアマを獲得。JGA (日本ゴルフ協会) のナショナルチームメンバーにも選ばれているが、学生最後の年に自身初めての連盟公式競技優勝というビッグタイトルを手にした格好でもある。

2位はこの日69の伊波宏隆 (沖縄国際、大阪学院大3年) で、前日の10位タイからの浮上。3位は、3日目78と乱して15位タイまで後退していた42歳の荒川英二 (福岡雷山、写真Ⓔ) が69で回り、元九州ミッドアマチャンピオンの意地を見せた。



今年の九州アマチュア選手権には11県地区で行われた第1次予選に1196人が参加、この中から509人が2次予選に参加し最終決勝大会の出場権を争った。

その決勝大会はシード選手らを含め163人 (うち欠場4人) が出場。初日は小浦が5バーディー (ノーボギー) をマークして単独首位に立つと、2打差で東海大九州1年、酒匂雅崇 (チェリー鹿児島シーサイド) と福岡・沖学園高3年、阿佐和典 (皐月) の2人がつける展開。午後から雨になった2日目は小浦が順調にスコアを伸ばしたのに対し、追撃する選手が足踏み、その差は6打に広がった。この日で予選が終わり、通算13オーバー、157、77位タイまでの85人が決勝Rに進出。

決勝Rに入った3日目。午前中の雨も上がったが、難しいピンの位置にスコアが伸びず、小浦はパープレーで首位をキープ。この日ベストスコアタイの70で回った日本経済大4年、今村勇貴 (九州学生連盟) が前日の6位から浮上し5打差の単独2位。さらに2打

差の3位に福岡第一高2年の古川雄大（大博多）がつけ、4位にはナショナルチームメンバーの比嘉一貴（東北福祉大1年）。そして迎えた最終日。2位に5打差でスタートした小浦がボギーが先行したもののすかさず立て直して楽々の逃げ切りだった。

日本アマは18人 九州オープンは30人が出場権

この試合の結果、シード選手を含む上位18選手が第99回日本アマチュア選手権（7月8日から、宮城県・利府GC）への出場権を手にした。また、28位タイまでの29人と30位タイの4人のうちマッチングスコアカード方式で選ばれた1人の計30人が第44回九州オープン選手権（6月12日から、沖縄県・喜瀬CC）への出場権を得た。



初めてのタイトル

地道に、遅咲きの小浦和也



JGAが定めるアマチュアランキングの1位。最大のライバル視された同じナショナルチームメンバーの比嘉一貴（沖縄・本部高出身）が今春、東北福祉大に進学。環境の変化などもあって今大会生彩を欠いていただけに、順当と言えば順当な結果だったのかもしれない。

「今年是最終学年だし、（優勝という）いい形で終われた」とまずはホッとした表情を見せた小浦。しかし、4日間のゴルフ内容を振り返ると、反省ばかりが口をついた。「3日目、4日目にスコアを伸ばせていない。こんなんじや、プロの世界では通用しない」

その伸ばせなかった最終日。5打差の余裕を持って、「ゆっくりやろう」という心づもりだったが、2番で3パット、3番でアプローチ失敗で連続ボギーとし、「そんなこと言っとられん」と吹っ飛んでしまった。気合を入れ直して9番、17番と2ホールのパー5でバーディーを奪い、帳尻を合わせたものの、目標としたアンダーパーには到底及ばなかった。

宮崎の日章学園高出身。高校生で九州アマを制した香妻陣一朗（現在プロ）ら後輩に先を越され、今一つ存在感を示せていなかったが、アマチュアとし

て最後となる九州アマを出場5回目にして取った初タイトル。

この夏には来季のプロツアー出場権を懸けたQT（予選会）に挑戦する予定だと言うが、その前にもう一つ大きな仕事が残っている。日本アマだ。「もちろん、優勝目指します」。最後には力強い言葉が返ってきた。

（写真は最終18番、ウイニングパットのボールをセットする小浦和也）

2位の伊波宏隆 今日はメリハリをつけたラウンドを心がけたが、2m以内のショートパットがよく決まりました。日本アマは初めてですが、勉強するんじゃなくて、勝つつもりで挑んできます。

3位の荒川英二 （3日目スコアを乱して15位タイまで後退したが）今日は気持ちを入れ替えて、気合を入れていきました。今季目標はミッドアマ選手権で九州、日本の両タイトルを取ることです。

6位タイに〴〵低迷、した比嘉一貴 前週、大学の試合に出て成績もふるわなかった。調子悪いまま引きずって九州に臨み、気持ちで負けていたと思う。悔しい。大学生活にもだいぶ慣れてきたし、徐々に自信を取り戻して行きたい。